

平成12年9月4日

郵政省 電気通信局 電気通信事業部 事業政策課

「IT革命を推進するための電気通信事業における競争政策の在り方」担当御中

三菱電機株式会社

常務取締役 中西道雄

「IT革命を推進するための電気通信事業における競争政策の在り方」に関する意見

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度「IT革命を推進するための電気通信事業における競争政策の在り方」に関して、下記のとおり意見を述べさせていただきますので、電気通信審議会での審議の参考としていただければ幸いです。

敬具

記

我国の情報通信産業においては、移動通信ビジネスの規模が飛躍的に拡大し、我々通信機ベンダーはその恩恵に浴しているところであるが、これは移動通信事業分野において、NCC参入(1988年)、NTTドコモ分離(1992年)、デジタル系事業者参入(1994年)、端末売切り制導入(1994年)等の適切な競争促進政策が採られたことが功を奏して、携帯電話が爆発的に普及したおかげと理解している。

この度、電気通信審議会が電気通信事業分野全体の競争政策について審議されることは、我国の情報通信産業の喫緊の課題であるインターネットの普及に繋がるものと大いに歓迎したい。是非とも、インターネット普及の視点を最優先にして、審議を進めていただきたい。また、インターネットを普及させる上で、我国の電気通信事業で最も強力に推進されなければならないのは、高速かつ低廉な定額制常時接続サービスの供給と考えている。適切な競争促進政策により、多種多様なサービスの供給が推進され、インターネットの爆発的な普及に繋がってゆくことを期待している。

以上